

2021 年 11 月 20 日

Microsoft Office Word の Template を用いた BPPB 原稿作成の注意点

BPPB 編集室

BPPB 編集室が用意する Microsoft Office Word の Template を用いて BPPB の原稿を作成する際には、下記に注意して作成してください。特に注意をしていたいただきたい部分には下線を引いております。

なお、Template 中の青字部分は「注意書き」ですので、原稿作成後には削除して下さい。Template 中の赤字は BPPB 編集室が採択された論文の原稿を受け取った後に編集する部分ですので、手を触れないでください。右側余白のコメントは、論文投稿時には全て削除してください。

また、左側余白中にある行番号は、論文が採択された際に著者から最終の Post-print 版を提出していただく際に削除してください。

1. 全てのフォントは Times New Roman を利用します。ギリシャ文字などの特殊文字の場合は、Symbol のフォントは利用せず Unicode 文字を入力しフォントは Times New Roman のままで表示してください。特にギリシャ文字入力の場合には、Template 中に例として記載してあるギリシャ文字を選んでコピーしそのまま貼り付けるか、あるいは Microsoft サポート (<https://support.microsoft.com/ja-jp/word>) に記載されている Unicode 文字の入力法を利用してください。

2. Template には、直接、原稿をキーボードから入力するか、前もって準備した原稿からコピーして Template 中に貼り付けて下さい。その際には、[編集]→[形式を選択してペースト]→[テキスト]として、Template のフォーマットを守ったまま貼り付けてください。

3. Word の Template 中に書き込む全ての URL はハイパーリンクしてください。

4. 論文タイトルは太字の 16 point を用い、先頭の文字のみ大文字としてそれ以外の各単語は、固有名詞以外は小文字としてください。また、左詰で記載してください。

5. 著者名は 12 point を用い、名前と姓とをフルネームで記載して、他の著者との間はカンマ “,” で区切ってください。最終著者名の前には “and” を挿入しないでください。また、左詰で記載してください。

6. 所属先は、10 point のイタリック体を用い、所属先の名称と、住所（市、都道府県、郵便番号、国名）を記載してください。町名や番地は記載しないでください。

7. Abstract（要旨）は、10 point の太字を用いて 250 語以内で記載してください。また、両端揃えで記載してください。

8. Keywords は、10 point でタイトルに入っていない語句を 1 つ以上最大 5 つまで、カンマ “,” で区切って記載してください。

9. Significance は、10 point で 最大 100 語以内で記載してください。

10. Running Title は、3 ページ以降の奇数ページの上部欄外（ヘッダー）に 空白を含めて 50 文字以内で記載して下さい。

11. Corresponding author(s) の記載法

11-1. Corresponding author(s) の情報を 1 ページ目の下部欄外（フッター）に、Template にしたがって記載して下さい。

11-2. Corresponding author(s)が複数の場合には、それぞれの情報の後にセミコロン”;”で区切って下さい。論文の Template 中には複数の Corresponding authors を指定できますが、論文を投稿する際に用いる BPPB の ScholarOne Manuscript (S1M)の web site では、その仕様上 Corresponding author は 1 名しか記載できないようになっておりますのでご了解ください。

11-3. Corresponding author(s)の情報としては、氏名、連絡先（所属）、連絡先の住所（番地、町名、市、都道府県、郵便番号、国名）、ORCID iD (URL) を記載して下さい。

11-4. Corresponding author(s)の情報として、e-mail address の記載の可否は著者に任せますので、記載したい場合にのみ、ORCID iD の後ろにカンマ“,”を付けて、Template にならって記載して下さい。

12. 本文の入力法

12-1. Introduction, Materials and Methods などの Section 名は、10 point の太字で、“and”などを除き各語句の先頭を大文字で記載してください。Section 名の前に番号を加えないでください。

12-2. Subsection を加えることもできますが、その場合の Subsection 名は、10 point の太字で、“and”などを除き各語句の先頭を大文字で記載してください。Subsection 名の前に番号を加えないでください。

12-3. テキストは 10-point の Times New Roman で記載し、single space で両端揃えとしてください。全てのパラグラフの最初の行は、Template に従って左側のインデント（字下げ）をして下さい。

12-4. 文献を引用する際は、文献番号を上付きとせずに[1,3,5-8]などとして、カンマ“,”やピリオド“.”の前に記載してください。文献番号は、関連して配置される図や表の説明文中の記載も含めて、昇順に付して下さい。

12-5. Protein Data Bank 中の構造を引用する際には、[PDB ID: <PDB ID>] とテキスト中に記載し、<https://doi.org/10.2210/pdb<PDB ID>/pdb> へハイパーリンクして下さい。ここで<PDB ID>は、PDB が指定する ID です。（例 [PDB ID: [6qw9](#)]）。

12-6. テキスト中に数式を記載する際は、数式エディターなどを用いて記載し、左側にインデントを行い、数式番号を(1), (2) などと式の右側に付して下さい。Unicode で表現できる文字あるいは文字列のみの場合には、数式エディターを用いずに Unicode で Times New Roman を利用した入力をしてください。

12-7. 全ての図は、Figure 1, Figure 2 などとしてテキスト中で引用される必要が

あります。Supplementary 中の図に対しては、Supplementary Figure S1 などと引用して下さい。図の番号は、テキスト中で昇順に付して下さい。

12-8. 図は TIFF, JPEG, PNG のいずれかのフォーマットで 300 dpi の分解能で作成し、Template 中に適切な大きさに貼り付けて下さい。左右のマージンがテキストと同様に 20 mm となるようにし、はみ出さないように注意して下さい。

12-9. Supplementary 中の図を除く全ての図は、XML や HTML での高い分解能での表示のため、別途、個々に、TIFF, JPEG, PNG のいずれかのフォーマットの 300 dpi 分解能のファイルとして、S1M の web site から upload して下さい。

12-10. 図の番号、タイトル、説明は、Word のテキストボックス機能を用いて Template の例のように記載して、Template 中の図の下に貼り付けて下さい。インデントはせず、行間は 1 行とし、複数行となる際は両端を揃えて下さい。

12-11. 全ての表は、Table 1, Table 2 などとテキスト中で引用される必要があります。Supplementary 中の表に対しては、Supplementary Table S1 などと引用して下さい。表の番号は、テキスト中で昇順に付して下さい。

12-12. 表は、Word のテキストボックス機能を用いて Template の例のように作成し、Template 中に適切な大きさに貼り付けて下さい。左右のマージンがテキストと同様に 20 mm となるようにし、はみ出さないように注意して下さい。

12-13. 表の番号、タイトル、説明は、Word のテキストボックス機能を用いて Template の例のように記載して、Template 中の表の上に貼り付けて下さい。インデントはせず、行間は 1 行とし、複数行となる際は両端を揃えて下さい。

12-14. 表中の注釈は、Word のテキストボックス機能を用いて Template の例のように記載して、Template 中の表の下に貼り付けて下さい。インデントはせず、行間は 1 行とし、複数行となる際は両端を揃えて下さい。

12-15. 本文の最後に、
Conflict of Interest

Author Contributions

Acknowledgements

References

を、この順番に記載して下さい。

12-16. Preprint server に投稿された論文の場合には、Template 中の例にならって、その Preprint server 名、URL、投稿日の情報を Author Contribution の後ろ、Acknowledgements の前に記載して下さい。

12-17. Reference の 書 き 方 は 、 Instruction for Authors (https://www.biophys.jp/biophysics_and_physicobiology03.html) および Template 中に紹介されておりますので、それに従って記載して下さい。概略は下記の通りです。

- 1) 著者名、論文タイトル、雑誌名、volume 番号、ページ番号 (あるいは論文 ID)、発刊年、DOI の順に、Template 中の例にならって記載して下さい。
- 2) 論文タイトルは、固有名詞を除いて先頭の文字のみ大文字としてください。
- 3) 6 名までの著者の場合には、最後の著者名の前に “and” あるいは “&” は付けずに記載して下さい。
- 4) 7 名以上の著者の場合には、6 名までの著者の後に “, et al.” とイタリック体でなくノーマル体で記載して下さい。
- 5) 雑誌名はイタリック体でなくノーマル体で省略名を記載して下さい。雑誌の省略名は Index Medicus/MEDLINE フォーマットに従い、省略語の後ろにはピリオドを付してください。 Index Medicus/MEDLINE フォーマットは NCBI Database (<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals/>)にある NLM Catalog から調べられます。
- 6) Volume 番号は太字でなくノーマル体で記載して下さい。
- 7) DOI 情報が存在する場合には URL で記載して下さい。各引用文献の DOI は、CrossRef が提供する“free DOI lookup site (<https://www.crossref.org/guestquery/>)”などを利用して調べられます。
- 8) Preprint server 中の論文を引用することができますが、その際は URL を記載して下さい。
- 9) BPPB 用の Citation Style Language (CSL) が “biophysics-and-physicobiology.csl”

として GitHub site (<https://github.com/citation-style-language/styles>)および Zotero site (<http://www.zotero.org/styles/biophysics-and-physicobiology>) から入手できます。この CSL を Zotero (<https://www.zotero.org/>) や Mendeley Free/Desktop (<https://www.mendeley.com/>)によって活用していただくことで、容易に BPPB の引用スタイルに合致した文献リストを作成できます。

10) EndNote をご利用の方は、USACO 株式会社 (<https://www.usaco.co.jp/endnote/>)のご協力により EndNote 用の output style “Biophysics_and_Physicobiology.ens” が用意されていますのでご利用下さい。利用法は下記をご覧ください (https://support.clarivate.com/Endnote/s/article/EndNote-Install-Additional-Output-Styles?language=en_US)。

以上、記載法についてのご質問がある場合には、ご遠慮なく BPPB 編集室 < bpsjp@biophys.jp > までおたずね下さい。